

公開質問（案）

衆議院選挙の候補者の皆さま

コロナウィルスは、日本社会の脆弱性をあぶり出しました。特に日本で最大規模のうるま市内の病院でのクラスターは、閉鎖性が高い精神病院だからこそ起きた社会的なクラスターだと考えます。なぜ71名もの尊い命が奪われなければならなかったのか。救えた命だったのではないか。疑念をぬぐうことができません。

うるま市内の病院でのクラスターでは、亡くなった患者の多くは自由に外に出ることができませんでした。数十人の患者が、転院の機会を与えられず十分な治療が受けられませんでした。ワクチンも打っていませんでした。院内での感染対策の基本とされるゾーニングすら、十分に行われていませんでした。

なぜでしょうか。無策にも等しいこうした状況は、命の選別そのものだと思わずにはられません。

今後再び同様のクラスターが発生し、巻き込まれるのではないかと不安を覚える患者や家族は少なくありません。自分たちの命が軽視され、十分な治療を受けられないのではないかと心配なのです。

●質問①

同じ過ちを繰り返さないために、情報公開は必要と考えますか？ ○ ×
理由（ ）

それとも、国や県の当局だけが状況を把握すべきだと考えますか？ ○ ×
理由（ ）

●質問②

現在、県の保健部で調査検証作業が行われています。それで十分と考えますか？ ○ ×
理由（ ）

新たに第三者委員会などを設け、より専門的な調査検証をすべきだと考えますか？ ○ ×
理由（ ）

●質問③

第六波が来た場合、精神病院では再びクラスターが発生すると思いますか？ ○ ×
理由（ ）

●質問④

もし第六波が来て精神病院で再びクラスターが発生した場合、どうすべきだと思いますか？

1) 院内でゾーニングなどの努力をし、専門スタッフを拡充して対処すべき ○ ×
理由（ ）

2) 院内でのゾーニングは困難と判断し、コロナ陰性患者をホテルなどに移送すべき ○ ×

理由（ ）

3) 陽性患者全員が専門病院で治療を受けられるよう、日本本土の病院へも転院させるべき

理由（ ）

4) その他の可能性

（ ）

認知症は地域でケアをするのが、世界のスタンダードです。しかし、日本では精神病院が受け皿になっています。精神病院は閉鎖性が高く、一般市民が内部状況を把握しにくい現状があります。コロナ禍では、厳しい面会制限により家族ですら患者の状態が分からない事態が生まれました。

その閉鎖性が、ゾーニングやディスタンス確保などを取りづらい状況を生み出し、必然的にクラスター発生を呼び込んだと言えます。

●質問⑤

認知症患者が、精神病院に入院して晩年を過ごすことはやむを得ないと考えますか？

理由（ ）

認知症患者が地域で暮らせる社会づくりが必要だと考えますか？

理由（ ）